

学校だより 本荘 Smile 2023

令和5年度 第45号
令和6年2月19日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

2月の本荘小 なわとび大会では、子どもたち一人一人の頑張りが光りました。やっぱり、努力はいいですね。

2月4日は日曜参観でした。毎年恒例のなわとび大会です。子どもたちはこの日のために、一生懸命に練習をしてきました。練習をスタートした頃のスナップはこんな感じでした。



大なわは、おっかなびっくり、短なわも楽しそうに練習はしているけれど、まだまだ自分の記録を「もっともっと伸ばそう!!」という燃えたぎるような表情で練習しているかといいますと(苦笑)という平和な感じのスタートでした。みんななかよしで競争意欲がさほど高くない、「本荘っ子あるある」ではある

のですけれども…。では、実際に日曜参観ではどのような姿が見られたのでしょうか。

スタートは委員会の子どもたちが、自ら司会を務め、子どもたちの主体的な大会であることを、全児童に示します。これからの学校では、先生に「やらされる」活動は少なくなっていくはずで、「主体的な学び」をキーワードに日本の教育が進んでいるのだから当然です。本荘の子どもたちも主体的な活動をしているのです。この日は、地域の自治協議会の定例会も本荘小学校で開催されたので、自治会長さんや民生委員さん、交通安全協会、防犯協会など地域の方々も参観にも来ていただきました。そして、子どもたちの様子を、うれしそうに見ていただくことができました。

校長としても、子どもたちの頑張りを地域の方々に見ていただくことが何よりだと考えています。「地域に開かれた学校」これが、今後の学校の理想像になってくると考えるからです。そして、授業参観も兼ねたなわとび大会。多くの保護者の皆様に見守られながら頑張った本荘っ子たちでした。校長先生は、自治会の会議に出席するために、大なわの方は見ることはできなかつたのですが、各学年が自分たちのめあてに向けて大変頑張ったということを知りました。みんなにとってすばらしいなわとび大会になった一日でした。さらに午後からは、PTA主催のミニバレー大会でした。楽しい行事の連続で「みんな笑顔の本荘小」になったのでした。

(校長) ※裏面に続きます



司会の二人。6年生がリードしながら、4年生もがんばりました。
ありがとう。ゆなさん、りくとさん



スタート前の子どもの様子 その1

校長先生の虫眼鏡 「なわとび大会とミニバレー大会のスナップ」

この日は、なわとびとミニバレーの日です。日曜参観は楽しくなくてはなりません！みんなの楽しい笑顔が最後まで続いた一日でした。



個人の部が終わり、いざ団体競技の大なわへ



6年生がリーダーとなってがんばりました。



アタック!!大人も子どもも大ハッスルでした。



1年生チームは最年少ながらよく頑張ったのです。



最後はみんなで「ハイ!ポーズ!!」応援に来てくれた中学生もありがとう!!